

平成27年6月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

## 平成27年6月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
6月18日(木)	10:00～	個人	1 三上 泉	一括	
	10:45～		2 木曾 利廣	一問一答	
	11:30～		3 山本由美子	一問一答	
	休憩				
	13:15～		4 明田 昭	一問一答	
	14:00～		5 田中 豊	一問一答	
	休憩				
	15:00～		6 平本 英久	一問一答	
	15:45～		7 富谷加都子	一問一答	
	16:30～		8 福井 英昭	一問一答	
6月19日(金)	10:00～	個人	9 馬場 隆	一問一答	
	10:45～		10 藤本 弘	一問一答	
	11:30～		11 奥野 正三	一問一答	
	休憩				
	13:15～		12 並河 愛子	一問一答	
	14:00～		13 小松 康之	一問一答	
	休憩				
	15:00～		14 奥村 泰幸	一問一答	
	15:45～		15 小川 克己	一括	
	16:30～		16 石野 善司	一問一答	
6月22日(月)	10:00～	個人	17 酒井安紀子	一問一答	
	10:45～		18 菱田 光紀	一問一答	

### 【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成27年6月亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>三上 泉 6月18日(木) 10:00～</p> <p>一括</p>	<p>1 安全保障関連 法案、いわゆる「戦 争法案」に対する 市長の所見につ いて</p> <p>2 第4次総合計 画～夢ビジョン～ 後期基本計画策 定について</p> <p>3 市立学校の労 働安全衛生につ いて</p>	<p>安倍政権は、米国が世界で起こすあらゆる戦争に自衛隊が参戦・軍事支援する安全保障関連法案（いわゆる「戦争法案」）を国会に提出した。これに反対する国民の世論と運動が日に日に広がっている。</p> <p>国会においても衆議院憲法調査会で参考人の憲法学者が全員「憲法違反」だと表明した。憲法違反の法案は即刻廃案にすべきである。</p> <p>地方議会でも、同法案に反対する意見書の可決が相次いでいる。市民の命と安全・平和を守る観点から、「国のやることの一つ」と、傍観者的な対応では済まされない重大な問題だと考える。そこで以下の点について市長の姿勢を問う。</p> <p>(1) 憲法違反とされる法案に対する所見は。また、過半数を超える世論の反対の声についての市長の所見は。</p> <p>(2) 亀岡市出身の自衛隊員もおられる。自衛隊員が本来の任務を逸脱した戦争行為で「殺し殺される」ことがないように、法案に対して反対の声をあげるべきであると考え、市長の考えを問う。</p> <p>本市の人口増加のためには、子育て世代が亀岡市に移り住みたいと強く思える、子育てや教育の環境整備などの施策を充実させることが早急に求められる。また、亀岡の魅力を生かし、市民のアイデアが取り入れられ、地元の産業や「ひと」「もの」が活躍できる施策、地元の中小業者や商店が潤う取り組みが求められる。</p> <p>(1) このまま、スタジアム重視で突き進み、学校の教室へのエアコン設置や中学校給食などの教育環境整備、医療費助成などの子育て世代支援等の施策が遅れるという状況でよいと考えるのか。方向転換するなら今だと考えるが、市長の所見は。</p> <p>(2) 後期基本計画策定に、市長が施政方針で掲げた第3のキーワード「ポテンシャル」に関する具体的なプランがどの程度盛り込まれるのか。</p> <p>トラックなどの長距離輸送運転手と並んで日本一長時間過密労働だといわれる学校教職員の勤務条件の改善は、待ったなしの状況である。市が教職員代表との労働安全衛生の会議を定期的にもって協議を始めたことは画期的なことである。肝心なことは、実りある協議とそれを受けての具体的な点検や改善措置がなされることである。</p> <p>(1) 教職員の時間外勤務に対する原則をふまえた上で、市立学校教職員の勤務実態について現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) 現在における労働安全衛生委員会の実施状況と成果・課題は。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長</p>

		<p>4 子どもが遊びや運動のできる公園等の整備について</p>	<p>(3) 教職員の勤務時間等について、どのような形で点検をされているか。また、その結果は出ているのか。まだであれば、調査の実施・結果の公表の時期などの見通しは。</p> <p>(4) 教職員が安心して働き続けられる環境という労働安全衛生の側面からも、教室へのエアコン設置は早急に進めるべきである。実施の計画は進んでいるか。</p> <p>子どもたちがボールを使って遊んだり、スポーツを楽しんだりできる場所が亀岡市は多いとは言えない。また、地域による格差もあると考える。住宅地で子どもたちが、やむを得ず道路上でボール遊びをしている姿をよく目にする。</p> <p>(1) 現在における子ども一人当たりが使える公園や運動場の面積は適切なものになっているか。</p> <p>(2) 地域による格差が広がっていないか。安全・安心という観点からも、児童公園や運動場を増やす努力が必要ではないか。</p> <p>(3) 既存の公園へのトイレや水道の設置など、現状を見直すところはないか。</p> <p>(4) 東部地域の運動場を増やすためにも、保津川河川下流域(右岸)の利用を府に求めて、亀岡市として利用促進を早急に図るべきだと考えるが、計画を考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
2	<p>木曾 利廣 6月18日(木) 10:45~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 道路行政について</p> <p>3 防災対策について</p>	<p>任期満了に伴う亀岡市長選挙の日程が10月25日告示11月1日投開票に決定した。10月3日には立候補予定者説明会が行われる。栗山市長はいまだに次期市長選についての態度表明をされないが、然るべき時期に来たと思う。</p> <p>(1) 今定例会中、若しくは定例会終了後には態度を明らかにされると考えるが時期はいかがか。</p> <p>(2) 3期目の任期満了に当たりマニフェスト15項目の達成はできたのか。</p> <p>(3) 市制60周年の節目の年に当たり、記念式典では、今後の亀岡市の未来の方向を示されるのか。</p> <p>東の玄関口である篠町での国道9号の慢性的な交通停滞を解消するためのう回路として、特に必要な市道整備及び篠町交通空白地域対策は。</p> <p>(1) 市道中矢田篠線(篠工区)の整備について、京都縦貫自動車道篠インターアクセス道路交差点改良の工事完了時期は。</p> <p>(2) 市道北古世西川線の整備について、一部の地権者との用地交渉が難航しているが、今後の事業推進の方向は。</p> <p>桂川改修に伴う篠町、鵜ノ川整備に伴う篠町山本区防災上の要望の解決は。</p> <p>(1) 桂川改修に伴う鵜ノ川合流点にある鵜ノ川樋門に設置する排水ポンプの必要性及び内水対策の考えは。</p> <p>(2) 山本区・裏山は土砂災害警戒区域に指定されて</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 環境ごみ対策について	<p>おり、住宅地の裏は危険な山、前は鶴ノ川に面している。内水を一定排水するか、三本木橋から人呂坂までの道路拡幅と嵩上げにより、水位上昇と土石流を食い止める役割をもたせる要望があるが所見は。</p> <p>粗大ごみの処理手数料、指定ごみ袋・料金シール取扱店の確認及びシール購入時の課題は。</p> <p>(1) 粗大ごみ料金シール取扱店指定と指定解除はどのような手続きで行われているのか。</p> <p>(2) 取扱店の指定・解除はどのような方法で広報しているのか。</p> <p>(3) 現在約150店舗ある取扱店において料金シールはすぐに購入できるのか。</p> <p>(4) 回収できなかった粗大ごみはその後どのように指導されるのか。</p> <p>(5) 取扱店における指定ごみ袋・料金シール収納手数料及び消費税の取り扱いはどのようになっているのか。</p>	市長 所管部長
3	山本由美子 6月18日(木) 11:30~  一問一答	1 生活困窮者自立支援制度について	<p>本年4月より生活困窮者自立支援法が施行された。生活困窮者はさまざまな困難を抱えていることから包括的な相談支援や就労支援等を実施することが重要だと考える。</p> <p>(1) 制度やセンターの周知についての取り組みは。</p> <p>(2) アウトリーチを含めた相談体制や、地域の関係機関や部署との連携体制を構築し、早期発見・早期支援が必要と考えるが、現状は。</p> <p>(3) 任意事業の実施状況は。</p> <p>(4) 就労に向けた支援の充実・強化の取り組みは。 (中間的就労の場の提供など)</p> <p>(5) 人材育成や専門的な人材確保の考えは。</p>	所管部長
		2 小規模特認校制度について	<p>文部科学省は、平成27年1月19日、59年ぶりに公立小、中学校統廃合に関する基準を見直し、平成27年1月27日には「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引の策定について(通知)」を各教育委員会などに通達した。</p> <p>(1) 「手引」について本市の基本的な考えは。</p> <p>(2) 亀岡市学校規模適正化検討会議での検討を踏まえ、基本方針を策定(平成27年度末予定)した後、どのような方向で進めていく考えなのか。</p> <p>(3) 「手引」には小規模校を存続させる場合の教育の充実方策も示されているが所見は。</p> <p>(4) 小規模特認校制度を導入する考えは。</p>	教育長 所管部長
		3 木造住宅耐震促進事業について	<p>安全・安心なまちづくりを目指し、本市では平成20年3月に「亀岡市建築物耐震改修促進計画」が策定された。近年、日本各地で大型地震が数多く発生していることを受け、本市における今後の耐震化方針を決めたもので、平成27年度末までに住宅の耐震化率を90%まで引き上げることを目標として掲げている。</p> <p>(1) 対象件数と耐震化の進捗状況は。(木造住宅耐震診断土派遣事業、木造住宅耐震改修事業費補助</p>	所管部長

		<p>4 土のうステーションの設置について</p>	<p>制度、木造住宅簡易耐震改修事業費補助制度の実施実績もあわせて伺う。)</p> <p>(2) 木造住宅耐震診断士派遣事業、木造住宅耐震改修事業費補助制度、木造住宅簡易耐震改修事業費補助制度の申請件数の推移は。(過去3年間)</p> <p>(3) 平成27年度の見込み件数に対して5月末現在の申請件数は。</p> <p>(4) 平成27年度末までに住宅の耐震化率90%の目標達成に向けての課題と取り組みは。</p> <p>(5) 耐震シェルターや防災ベッドの設置にも補助制度を導入する考えは。</p> <p>近年「ゲリラ豪雨」と言われる短時間で局地的に降る大雨や大型台風などが全国的に増加傾向にあり、本市においても浸水被害が発生している。</p> <p>(1) 市民等から土のうの要請があった場合、本市の対応は。</p> <p>(2) 高齢者等災害弱者に対しても(1)と同様の対応か。</p> <p>(3) 市民の災害対策活動の支援策として必要に応じて、いつでも土のうを利用できる「土のうステーション」を設置し、浸水被害の防止、軽減を図る考えは。</p>	<p>所管部長</p>
4	<p>明田 昭 6月18日(木) 13:15~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 地方創生のまちづくりについて</p> <p>2 城下町地区の課題について</p>	<p>人口減少・超高齢化・少子化社会を背景とした時代を迎え、現状のまま何も対策を取らなければ、全国の自治体の1/4以上は、消滅する可能性が指摘されている。また、6月5日には、高齢対策の一環として、東京圏の高齢者に対する移住提言を民間団体の「日本創成会議」が発表し、各マスコミが大きく取り上げたところである。</p> <p>日本創成会議の提言も、安倍内閣が進める第3の矢である地方創生の総合戦略に組み込まれたものであり、ぜひ亀岡市においても、地方創生の中に組み込まれたまちづくりを進め、亀岡創生を実現する必要がある。</p> <p>(1) 地方創生特区とはどのようなものか。</p> <p>(2) 今日まで特区指定を受けた自治体の数は。</p> <p>(3) 特区指定についての亀岡市の考え方は。</p> <p>(4) 本制度の申請期限は。</p> <p>(5) 少子化対策として子育て支援をさらに大きく拡充し、特区に応募すべきと考えるが、市の考えは。</p> <p>市制60周年を迎えた亀岡市、また、城下町地区の誇りであった亀岡会館が使用停止で休館となり、その後の使用について、一刻も早く次の青写真を示していただくことが重要と考える。時を同じくして文化資料館も亀岡会館と同じ運命にある訳だが、以下、城下町の今後に関わる課題について問う。</p> <p>(1) 亀岡会館の今後の見通しは。</p> <p>(2) 亀岡会館の立地場所の見解は。</p> <p>(3) 文化資料館については、今どのような作業が行われているのか。</p> <p>(4) 地方創生の目玉となりうる山鉾巡行の障害とな</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>3 社会保障・税番号制度と選挙制度について</p>	<p>っている電線類地中化の実施計画は。</p> <p>私たち市民にとって直接関係する、2つの法律が大きく変わろうとしている。社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）と選挙制度である。ともに、日本国民は初めて経験する事であり不安もあるところであると思うが、この2つの法律について問う。</p> <p>(1) マイナンバー制度とは。</p> <p>(2) 個人情報等の安全対策は。</p> <p>(3) 選挙権年齢18歳以上についての所見は。</p> <p>(4) この制度改正による効果は。</p> <p>(5) 亀岡市としての対応はどのようなことが考えられるのか。</p> <p>(6) 高等学校教育にも影響があるのではないかと。</p>	<p>市長 選挙管理委員会 委員長 所管部長</p>
5	<p>田中 豊 6月18日(木) 14:00~  一問一答</p>	<p>1 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域について</p> <p>2 東西別院地域のデマンドタクシーについて</p> <p>3 し尿くみとり手数料のコンビニ収納について</p> <p>4 亀岡中部農地整備事業（佐伯工区）の排水問題について</p>	<p>平成27年京都府告示第196号で、土砂災害警戒区域が、同じく197号で土砂災害特別警戒区域が指定されたことに伴い、本市の防災行政について問う。</p> <p>(1) 本市においてはそれぞれ何箇所が指定されたのか。</p> <p>(2) 平成27年3月31日付けの知事からの通知文には「警戒避難体制に関する事項を貴市の地域防災計画に定めるとともに、円滑な警戒避難が行われるために必要な事項について住民への周知を図られますようよろしくお願いします。」とされているが、本市の取り組み状況はどうか。</p> <p>本年の3月定例会で東西別院地域でのデマンドタクシーの導入計画等について質問したが、部長は「デマンド方式による運行で、現在関係者と協議・調整を行っており、早い時期に考え方をまとめていく」と答弁された。</p> <p>(1) 関係者とどのような協議・調整を行ったのか。</p> <p>(2) 考え方はまとまったのか。</p> <p>し尿くみとり手数料のコンビニ収納について問う。</p> <p>(1) し尿くみとりの戸数はどうか。</p> <p>(2) くみとり戸数のうち、くみとり手数料を口座振替している戸数はどうか。</p> <p>(3) 納付書によって金融機関で納付している戸数はどうか。</p> <p>(4) 口座振替の取り扱いを行っている金融機関に口座を持っておられない方や、平日勤務の方は納付期日までに納付が困難である。コンビニ収納も取り入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>5月28日に「国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区佐伯工区ほ場整備計画説明会」が開かれたが、それに関連して以下の点について問う。</p> <p>(1) 本事業の事業主体はどこか。</p> <p>(2) 佐伯工区の着工時期はいつか。</p> <p>(3) 佐伯工区の排水と天川地区の問題をどのように考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		5 農業委員会法改正について	<p>農業委員会法改正案が国会に提案されているが、所見を求める。</p> <p>(1) 農業委員会の目的と役割はどうか。</p> <p>(2) 改正案は、農業委員を選ぶ選挙を廃止して市町村長による任命とし、数も半減させるもので、「農地の番人」としての役割が弱体化すると考えるが所見は。</p> <p>(3) 農業委員が市町村長に選任されるようになれば、その独立性が脅かされるのではないか。所見は。</p> <p>(4) 改正の目的はどこにあると考えるか。所見は。</p>	農業委員会会長
6	<p>平本 英久 6月18日(木) 15:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 防災について</p> <p>2 地域防災について</p> <p>3 亀岡会館の使用停止に伴う、交響ホール確保について</p> <p>4 法施行後の空き家の適正管理について</p> <p>5 AEDの利用状況や活用について</p>	<p>近年の異常気象に伴う降雨により普通河川以外の用水路等での増水による被害状況について質問する。</p> <p>(1) 平成26年度中の床上・床下浸水等の箇所は何箇所把握されているのか。</p> <p>(2) 把握されている箇所について、これからの梅雨時期に向けてどのような対応をされるのか。</p> <p>(3) 用水路等の改修は検討されているのか。</p> <p>地域による自主的な避難訓練は、自治会単位で行われることが多いが、一部で実施されている区単位での避難訓練に取り組んではどうか。</p> <p>(1) 一時避難場所以外の区単位での避難場所の選定や独自の避難訓練を行ってはどうか。</p> <p>(2) 小規模避難訓練に取り組む地域には助成を行ってはどうか。</p> <p>亀岡会館の使用停止に伴う交響ホールの確保について質問する。</p> <p>(1) 亀岡会館の改修や建替えを今後検討すると聞いているが、当面使用できないため、既存の公共施設を改修して対応してはどうか。</p> <p>(2) 亀岡会館の建替え以外に、文化資料館の建替えに合わせて交響ホールを併設または一体化した複合施設の建設を検討してはどうか。</p> <p>空き家の適正管理について質問する。</p> <p>(1) 長期間放置されている空き家を把握できているか。そのうち「特定空家」は何件把握できているか。</p> <p>(2) 実態把握後どのように対応するのか。</p> <p>AEDの利用について質問する。</p> <p>(1) 各種スポーツ行事での貸出しを希望されることが多いと聞くが、今後、配置台数を増やしたり、自治会以外での使用貸出しの台数を増やしてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
7	<p>富谷加都子 6月18日(木) 15:45~</p> <p>一問一答</p>	1 亀岡市新資料館構想策定について	<p>第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～、亀岡市教育振興基本計画の実現のなかで、新資料館の役割、使命は大きい。現在、有識者・市民・行政が一体で検討協議中の進捗状況について問う。</p> <p>(1) ネーミングは大切である。ミュージアムとの意見もあるが、公募を行う考えは。</p>	所管部長



		<p>2 不妊治療費助成制度について</p> <p>3 ボランティアポイント制度について</p> <p>4 戸籍の届出について</p>	<p>(2) 類似施設から登録博物館を目指すのか。</p> <p>(3) アユモドキなどの飼育展示を含め、生物展示は子供の反響が大きいと考える。常設展示は可能なのか。</p> <p>(4) 高い専門性の学芸員は資料館の魅力発信の要と認識する。学芸員の存在をどのように生かすのか。</p> <p>(5) ミュージアムの社会的役割も高まり、親子連れの利用は子育て支援につながる。子供向けコーナー設置の考えは。</p> <p>(6) 広報は大切である。市の広報紙・新聞・ブログや各種ホームページを活用しているが、あまり周知されていない。各種団体に出向いてPRを行う考えは。</p> <p>(7) 開館30周年を迎え、利用状況の現状把握が大切である。年間来館者数の推移と企画展・特別展の来館者数の推移は。</p> <p>(8) 亀岡の独自性のある資料館を期待する。最大のアピールポイントは。</p> <p>厚生労働省は今月の5日に2014年度人口動態統計の出生率を1.42と提示した。団塊ジュニア世代に支えられた回復期も低迷期に入り、人口減少過去最大幅との論評である。少子化抑制への一助として不妊治療を受けやすい環境整備の強化が必要と考える。</p> <p>(1) 本市出生率の動向は。</p> <p>(2) 過去3年の一般不妊治療費助成制度及び特定不妊治療費助成制度の申請件数と助成件数は。</p> <p>(3) そのうち母子手帳の交付件数は。</p> <p>(4) 経済的な理由で治療を断念せざるを得ないとの声がある。助成拡大の考えは。</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業が地域支援事業に移行し、ますます高齢者の社会参加や地域貢献が期待され、ボランティアポイント制度導入が後押しすると考える。</p> <p>(1) ボランティア育成の取り組み状況は。</p> <p>(2) ボランティア人口が増えると、まち・人の地域創生につながる。ボランティアポイント制度導入の考えは。</p> <p>各種届出のなかで、婚姻届や出生届は人生の節目の門出であり、届出書を手元に残したいとの市民の声がある。</p> <p>(1) 記念に婚姻届写しを配付している市があるが、本市も実施してはどうか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
8	<p>福井 英昭 6月18日(木) 16:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 コンパクトシティの実現について</p>	<p>亀岡市都市計画マスタープランにも謳われているコンパクトシティの考え方は今後のまちづくりに不可欠なことだが、これを具現化していく方策について問う。</p> <p>(1) 第4次亀岡市総合計画後期基本計画の進捗は。</p> <p>(2) 国の地方創生による地方版総合戦略策定について、本市では後期基本計画の進捗に合わせて作成すると聞いているが、それで間に合うのか。</p> <p>コンパクトシティ実現に向けての具体的事象について</p>	<p>市長 担当副市長</p>

		<p>2 アユモドキの飼育展示について</p> <p>3 雑水川の整備について</p>	<p>て質問する。</p> <p>(3) 亀岡駅南部地区の再開発について、地元追分町の内部から、新しいまちづくりの模索がはじまっているが所見は。</p> <p>(4) 亀岡駅南部についても、総合計画後期基本計画や地方版総合戦略にも盛り込んでいくべきと考えるが所見は。</p> <p>亀岡会館、中央公民館、文化資料館、観光協会及びシルバー人材センター等は、様々な理由があり、場所的に継続困難になっている。また、商工会議所でも商工会館の建替えを検討している。</p> <p>(5) これらを個々に建て替えていける見通しはあるのか、見解を。</p> <p>(6) 個別に考えるより、ひとつにまとめた総合会館として検討してみてもどうか。</p> <p>(7) 亀岡駅北側・南側を合わせた総合的な考え方で地方創生の交付金を獲得できないか。</p> <p>亀岡市文化資料館では、5月の終盤から館内で天然記念物アユモドキを約60尾、飼育されている。</p> <p>(1) 順調に飼育できているか。</p> <p>(2) 約1ヶ月飼育してみてわかったことはあるか。</p> <p>(3) アユモドキ見学の来館者はどのくらいあったか。</p> <p>(4) 飼育が順調に行き、データが取れば、市内の小学校で飼育する計画と聞くが本当か。</p> <p>雑水川周辺は、平成24年の集中豪雨により床上・床下浸水の被害が出て以来、その支川を合わせて3年連続で浸水被害が出ている。この対策と河川改修工事について質問する。</p> <p>(1) 緑橋上流部工事の進捗状況は。</p> <p>(2) この部分に入り込む支川を含めた整備計画はあるのか。</p> <p>(3) 内水氾濫を軽減するとして計画している埋め込み水路についてはどのようなものか。進捗はあるのか。</p> <p>(4) 市街地排水路の排水基準が見直されるように聞くが市の見解は。</p> <p>(5) 南郷池の一部を浚渫したことにより、悪臭問題、貯水量・流量の問題は解決したのか。</p> <p>(6) 南郷池の出水口工事は、橋の架け替えと同時に思うが、いつ頃になるか。</p> <p>(7) クニッテルフェルト通りより下流部の河川整備により川岸の遊歩道が供用開始されているが、落下防止柵もなく非常に危険と考えるが、見解は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
9	<p>馬場 隆 6月19日(金) 10:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 買い物弱者を応援する市政について</p>	<p>買い物弱者応援マニュアル ver2.0(案)(経済産業省)から、本市施策に生かすことについて</p> <p>(1) 実態の把握は。</p> <p>(2) 各地域でのお買い物バス(仮称)施策等の検討は。</p> <p>(3) コミュニティバスについて 東・西コースの利用状況は。 篠地域での試験運行と、車両増車による住民の利</p>	<p>市長 所管部長</p>

		2 京都府サッカースタジアム建設計画について	<p>便性の向上は。</p> <p>吹田市では、ガンバ大阪（Ｊ１）が、民間の資金を結集しスタジアム建設を行っている。一方、京都府と亀岡市は府・市民の税金を使って、スタジアムを建設しようとしている。</p> <p>「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）の整備計画の策定にあたり考慮すべき基本方針について（素案）Ver.1」＜「アユモドキ等の自然と共生する公園・スタジアム」の実現に向けて＞について、及び「京都府公共事業事前評価」では、3月定例会で説明されてきたことと違い、大幅な設計の変更等が行われている。</p> <p>（１）杭工法からベタ基礎工法に変更することについて</p> <p>杭基礎で施工しようとしてきた理由は。 この工法が採用されなくなった理由は。 ベタ基礎とはどういう工法か。 この工法採用の理由は。 この工法による観客席はどのような構造か。 予定地の地耐力等から、工事中止が求められるのでは。</p> <p>（２）南北軸を西に20度回転し、用地限界の最北西に配置することについて</p> <p>なぜ移動・回転させるのか。 Ｊリーグスタジアム標準規定と違うのは。 回転によってどのような変化が生じるのか。 「用地移動」でなく「場所変更」では。</p> <p>（３）プロポーザル方式からデザインビルド方式に変更することについて</p> <p>3月定例会の馬場質問・市長答弁は何であったのか。 デザインビルド方式へのWWFジャパンの批判への所見は。 事業費の水ぶくれを生まないのか。</p> <p>（４）環境保全専門家会議（4月28日）の基本方針の確認は。</p> <p>（５）建設用地の「移動」でなく、中止・場所変更を求めるべきではないか。</p>	市長
10	藤本 弘 6月19日(金) 10:45～  一問一答	1 地方創生について  2 空き家対策について	<p>国は、地方自治体に中長期の将来展望を示す「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定を求めている。今後、地方創生が市の重点課題となる。</p> <p>（１）亀岡市における、地方創生の戦略的目玉政策はどのように考えるか。</p> <p>（２）「人口減少対策」については、どのように考えるか。</p> <p>（３）「人口フレーム10万人達成」については、どのように考えるか。</p> <p>平成27年5月26日、国は「空家対策特別措置法」を全面施行した。市区町村は、治安や防災上の問題が懸念される空き家の所有者に対し、撤去や修繕を勧告、命令できると規定されている。また、命令違反には5</p>	市長 所管部長  市長 所管部長

		<p>0万円以下の過料を科し、強制撤去も可能とした。これにより、倒壊や衛生上著しく有害となる恐れのある「特定空家」を自治体が決め、改善を求める仕組みとなっている。</p> <p>(1) 亀岡市においては、どの部署が「特定空家」と認定するのか。</p> <p>(2) 「特定空家」の基準は、どのように考えるか。</p> <p>(3) 「特定空家」の数は、亀岡市に推定どれくらいあるのか。</p> <p>(4) 「特定空家」の撤去や修繕勧告、命令となると法的拘束力が必要と思うが、将来、条例の制定等は考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 プレミアム商品券について</p>	<p>亀岡市も6月25日より府内で唯一のICカードを活用した「プレミアム電子商品券」を発売すると発表があった。事前に入金するプリペイド方式と、買い物の一部を還元するキャッシュバック方式を採用。それぞれ10%のプレミアムを付け、両方式を併用すれば最大20%の特典が得られるとあるが、少し分かりにくい。</p> <p>(1) 地元商店への再来店がねらいとあるが、スーパーや大型店ではキャッシュバックはないのか。</p> <p>(2) 少しお得感に欠けるように思うが、最大のお得感はなにか。</p> <p>(3) 一過性のものではなく、継続した消費が図られるような施策を講じていくとあるが、具体的にどのようなものか。</p> <p>(4) イベント性のある事業を追加で実施するとあるが、どのような事業か。</p> <p>(5) 消費者にとって、単純で分かりやすいのが大切だが、最大のセールスポイントは何か。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 「森の京都」の充実について</p>	<p>7月18日、京都縦貫自動車道が全線開通し、全国の主要都市や関西国際空港と高速道路網が直結することで、企業立地や外国人観光客の増加など、大きな効果が期待される。すでに京都府北部は、舞鶴港を「ハブ港」とし、天橋立や丹後の海の幸を宣伝し、東南アジアをはじめとする世界各国から多くの外国人観光客を受け入れ、道路網も整備され「海の京都」として確立をしていっている。次は、京都・丹波地方を中心とした「森の京都」の充実・整備が急がれる。</p> <p>(1) 亀岡市も、「大交流時代のはじまり」にあたり、2市1町を中心とした「森の京都」構想の充実に貢献していく具体的な考えはあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
11	<p>奥野 正三 6月19日(金) 11:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 本梅町グリーントウン区土砂災害の復旧について</p> <p>平成26年8月の台風11号の豪雨により、グリーントウン区学遊館の裏山が崩落し、学遊館が一部破損した。その後一時的な復旧工事はしているが、二次災害の恐れがあると考える。</p> <p>(1) 市の災害時一時避難施設が一部破損し、そのままであることをどう考えているのか。</p> <p>(2) 付近の住民は毎日不安な生活を送っていることをどう考えるのか。</p> <p>(3) 区で対策委員会を組織しているが、限界がある。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 西部地域の市立保育所の統廃合について</p> <p>3 本市における小規模学校について</p> <p>4 国道・府道の整備について</p>	<p>市として対応する考えはないのか。</p> <p>本梅保育所と東本梅保育所の統廃合計画があると聞いている。</p> <p>(1) 統廃合の主たる目的は何か。</p> <p>(2) 統廃合後の保育所はどこに計画しているのか。</p> <p>(3) 通園に保護者の負担が今以上に増すと考えられるがどうか。</p> <p>少子化が進み、児童生徒数が減少していく中で、学校規模の適正化に向けての考えは。</p> <p>(1) 今年度、複式学級を行っている学校は何校あるのか。</p> <p>(2) 学校規模適正化検討会議は、どのように進められ、どこまで進んでいるのか。</p> <p>(3) 将来、小規模学校が統廃合される可能性はあるのか。</p> <p>本市において国道・府道の整備と拡幅工事が進められている。</p> <p>(1) 府道宮前千歳線の鳴滝工区は、平成28年の完成予定と聞いているが、今後の計画は。</p> <p>(2) 国道372号の柿花診療所横が一部狭くなっているが、拡幅計画は。</p> <p>(3) 府道天王亀岡線の友愛園からほんめ町ふれあいセンターまでの間の拡幅工事の計画はあるのか。</p> <p>(4) 湯ノ花工区が整備され、現在歩道の整備中であるが、国道が北側へ寄ってできた空き地の利用計画は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
12	<p>並河 愛子 6月19日(金) 13:15~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市長退職金について</p> <p>2 こども医療費の小学校卒業までの無料化拡大について</p> <p>3 国民健康保険事業について</p>	<p>市民の暮らしが大変な中、4年ごとに支払われる市長の退職金の見直しが求められるのではないかと。</p> <p>(1) 積算根拠と算出額はどうか。</p> <p>(2) 京都府下との比較はどうか。</p> <p>(3) 見直すべきではないかと。</p> <p>請願が議会で採択されて4年以上が経過しても実現されていない。少子化対策としても有効である。無料化を実施すべきである。</p> <p>(1) 今年9月から府の制度が入院及び通院について中学校卒業まで実施される。市の負担はどれ位軽減されるのか。</p> <p>(2) これまで通院について小学生は平成23年7月から、中学生は平成25年7月から市の制度として実施されてきている。各年度の3千円超えの件数と金額はどうか。</p> <p>(3) 今定例会に条例が提案されている。経済的には、これまでと変わらない。亀岡市以北はすべて最低でも小学校卒業までとなっている。無料化に踏み出すべきと思うが所見は。</p> <p>今年3月3日、政府は医療保険制度改革関連法案を閣議決定し、国会に提出した。これは、地方自治体に対しても、医療抑制策に積極的に取り組まざるを得な</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 まちづくりについて</p> <p>5 下水道事業貸付金あっせん助成制度について</p>	<p>い状況をつくるなど、地域住民のための医療保障制度をさらに変革するものであり、住民生活への影響が懸念される。</p> <p>(1) 国保の都道府県単位化についての所見は。</p> <p>(2) 国に対して国保財政に責任を持つことを求めることについての所見は。</p> <p>安全安心のまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 桂川の浚渫について、月読橋から宇津根橋までの桂川の土砂浚渫についての計画は。</p> <p>(2) 亀岡駅北口自転車等駐車場の雨天対策について、雨に濡れないように屋根つきに改善してほしいとの要望があるが所見は。</p> <p>下水道の布設が進められているが、利用されていない世帯もある。貸付金あっせん助成制度を活用される方法もあるのではないかと。</p> <p>(1) 貸付金の具体的な事業の内容はどうか。</p> <p>(2) 下水道事業が完了した地域での未加入世帯の割合はどうか。</p> <p>(3) 貸付金あっせん制度の周知はどのようにされているのか。</p> <p>(4) 融資利息2%となっているが、引き下げを図るべきではないか。</p> <p>(5) 保証人1人となっているが、見直しをすべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
13	<p>小松 康之 6月19日(金) 14:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 危険箇所の防災対策について</p> <p>2 市道中矢田篠線の安全対策について</p> <p>3 東つつじヶ丘公園の管理について</p> <p>4 選挙の投票率向上について</p> <p>5 市立病院事業について</p>	<p>民地における急傾斜地等の防災対策について問う。</p> <p>(1) 民地の樹木が市道に落下したり、法面の土砂が流出したりする恐れのある箇所がある。土地の管理者への指導はどのようにされているか。</p> <p>市道中矢田篠線(上矢田工区)の開通について問う。</p> <p>(1) 上矢田工区開通後の車両の通行量の変化についてどのように把握しているか。</p> <p>(2) 西つつじヶ丘地内で横断する歩行者や自転車通行の安全対策は。</p> <p>夜間の防犯について問う。</p> <p>(1) 市内都市公園の防犯カメラの設置状況は。</p> <p>(2) 当公園では、これまでいたずら等によりトイレなどが被害を受けており、防犯カメラの設置を地元では求めている。取り組みは。</p> <p>投票率の低下には様々な要因がある。特に若者の選挙に関する関心度は将来のまちづくりや少子化対策に大きく影響する。</p> <p>(1) 投票率低下の要因は。</p> <p>(2) 福知山市では、若い世代の方を対象に期日前投票立会人を募集するなど、若者の関心を高める工夫をされているが、本市でも取り入れるべきでは。</p> <p>市立病院事業について問う。</p> <p>(1) 医師の診療体制は確保できているか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>選挙管理委員会 委員長</p> <p>病院事業管理者</p>

14	<p>奥村 泰幸 6月19日(金) 15:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 エコトピア亀岡について</p> <p>2 職員の市内居住への支援制度について</p>	<p>エコトピア亀岡(埋立処分場)について質問する。 (1)埋立処分期間の延長に係る地元や下流域との協議について、その進捗状況は。 (2)埋立処分期間の延長に関する契約締結までのスケジュールは。 (3)契約締結の最終リミットはいつと考えているか。</p> <p>人口増・経済効果・税収増・空き家対策、また災害等緊急時の対応など、職員の市内居住には利点がある。 (1)市外居住職員の人数、割合は。 (2)市内居住するための手当(住居手当)を充実してはどうか。 (3)住宅購入の場合は、移住支援一時金を支給してはどうか。(3年間の固定資産税相当分) (4)職員採用時に地元枠を設定している自治体があるが、本市への導入は。</p>	<p>担当副市長 所管部長</p> <p>担当副市長 所管部長</p>
15	<p>小川 克己 6月19日(金) 15:45~</p> <p>一括</p>	<p>1 安全・安心なまちづくり、防災・減災について</p> <p>2 桂川右岸道路整備について</p> <p>3 JR千代川駅東側広場整備について</p> <p>4 市道川関小林線の安全対策について</p>	<p>近年、予期せぬ災害、異常とも言える局地的な豪雨により水害や地震などの大災害が危惧される。市民の生命・財産を守るため、財政リスクを軽減する防災・減災の安全対策について問う。 (1)同報無線を設置している自治体があるが、これは、災害時や緊急時にサイレンと音声で情報を伝達する手段として、また行政のお知らせ等もでき、非常に有効と考えられるが本市ではどう考えるか。 (2)日頃の減災・水害対策として、前もって土のうをつくり置いておく土のうステーションを、必要とする自治会若しくは地区集会所などに設置することを検討してはどうか。</p> <p>京都縦貫自動車道が今年1月2日に大雪で通行止めになり国道9号が大渋滞となったことは、記憶に新しい。国道9号の渋滞緩和、千代川町の今津踏切の渋滞緩和、桂川右岸の水防対策や緊急物資輸送路として考えると、都市計画マスタープランにも構想路線として位置づけられている千代川町から宇津根橋に至る右岸道路は、それらと大規模スポーツ施設へのアクセス面から本市にとって道路整備のなかでも重要である。 (1)具体的に調査・検討を進めてはどうか。</p> <p>JR千代川駅東側の広場整備に向けて昨年度一部工事が進められている。 (1)今年度の工事の予定は。</p> <p>3月定例会でも質問したが、市道川関小林線の安全対策は地元の強い願いである。引き続き安全対策をお願いしたい。 (1)千原地域の一部から川関まで路肩のカラー化が進んでいないのはなぜか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>

16	<p>石野 善司 6月19日(金) 16:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 ごみ屋敷の実態について</p> <p>2 亀岡市生活相談支援センターについて</p> <p>3 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について</p> <p>4 安全・安心いのち輝く学校・保育所づくりについて</p> <p>5 高齢者運転免許証自主返納支援制度について</p>	<p>自宅に物をため込む「ごみ屋敷」問題。近隣住民とのトラブルの原因になりがちな「ごみ屋敷」は、平成18年ごろから注目されるようになってきた。それ以前からも地域にはあったが、地域社会や家族のありようがかわるにつれ顕在化してきた。従来の法や制度では想定してこなかった、それだけに、ごみ屋敷をめぐる実態はほとんど把握されてこなかった。</p> <p>(1) ごみ屋敷をめぐる実態把握は。 (2) ごみ屋敷の住人への対応は。 (3) 規制できる法令、明確な基準は。 (4) 今後の課題は。</p> <p>平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、地方自治体は総合的な相談窓口を設置する。法施行に先駆けて国が昨年度からモデル事業を始めており、本市は全国200カ所の一つとしてモデル事業を実施してきた。</p> <p>(1) 本市では社会福祉法人全国手話研修センターに委託し、センター職員が常駐し継続的サポートに当たる。支援体制としてメリットはあるか。 (2) 26年度の相談件数は。 (3) 相談内容の主なものは。 (4) 家庭訪問数は。 (5) 支援終了の判断は。 (6) 就労等に繋がった成果は。 (7) 今後の課題は。</p> <p>平成26年10月から予防接種法施行令の一部改正に伴い高齢者対象の高齢者用肺炎球菌ワクチンが追加され予防接種の充実が図られたところである。</p> <p>(1) 26年度中の接種状況は。 (2) 本年度の予定接種対象者数は。 (3) 今後の課題は。</p> <p>本市が推進するセーフコミュニティの理念を児童・幼児や保護者、地域へさらに浸透させるため、1小学校・9保育所(園)がインターナショナル・セーフスクール(ISS)活動を展開中である。</p> <p>(1) 今日までの取り組み状況は。 (2) 今後の課題は。</p> <p>セーフコミュニティ活動を通して様々な交通施策に取り組む中、交通事故は、年々減少傾向にあるが、高齢者が関係する事故は増加傾向にある。昨年、京都府内における高齢者の交通事故による死者数は、全体の半数以上を占めており、高齢者を守る対策の強化が必要である。このため、加齢による身体機能や判断力の低下などにより、運転に不安を感じる対象者に、自主的に運転免許証の返納を促す制度が導入された。</p> <p>(1) 返納対象者は。 (2) 返納状況(件数)は。 (3) 返納者への支援制度は。 (4) 今後の課題は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	--	---	---	--



17	<p>酒井安紀子 6月22日(月) 10:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 スタジアム関連プロジェクトのマネジメントについて</p> <p>2 広報広聴のありかたについて</p> <p>3 学校給食について</p>	<p>プロジェクトチームを編成し、スタジアム関連事業が推進されているところであるが、その会議録は開示請求をしても中身が明らかにならないままである。</p> <p>プロジェクトが成功といえるためには、合意された諸条件内で事業を完遂しなければならない。</p> <p>(1) どのような考え方でプロジェクトをマネジメントしているのか。</p> <p>(2) ステークホルダーとのコミュニケーションは十分に取れているのか。</p> <p>(3) 特に京都府との役割分担については、行き違いが生じないよう、詳細を文書化しておく必要があるのではないか。</p> <p>(4) プロジェクトにかかる費用は、国庫補助に大きく依存している。補助を申請した当時のB/C算出資料等は適切に作成・保存がされているか。</p> <p>(5) 状況の変化も出てきているが、それによってもB/Cが1を切ることがあってはならない。引き続き補助金を確保していくためにも適切な説明ができるように準備をされているか。</p> <p>NHKニュースで「アユモドキは環境省などが守ってきたのではなく、亀岡市や市民、それに京都府が一生懸命守ってきた。守ってきた人たちがこれからも守っていくというのが我々のスタンスで、まさに慎重に事業を進めていく」との知事のコメントがあった。</p> <p>(6) 環境省、文化庁、学者等からのこれまでの支援に感謝しつつ、今後も一層の助力を求めていくべきではないか。</p> <p>大切な広報広聴の場として役割を果たしてきた地域こん談会は、年1回各町自治会へ市長をはじめとする特別職、各部長級が出席して開催されているものである。</p> <p>(1) 機会を生かし積極的に市政課題を伝えてはどうか。</p> <p>(2) よりよい広報広聴のあり方を新たに検討すべき時期ではないか。</p> <p>中学校給食の実施については、多くの要望があるところだが、未だに具体的な検討段階に至っていない。</p> <p>(1) 中学校給食について研究を深めている目的は何か。</p> <p>小学校給食では、週1回のパン、毎回の牛乳が提供されている。給食費1食250円に占める牛乳の費用は53円であり、給食費の約21%である。</p> <p>(2) 完全米飯給食の実施を検討してはどうか。</p> <p>(3) 小学校給食における牛乳の必要性を食育・栄養面から見直してはどうか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
18	<p>菱田 光紀 6月22日(月) 10:45~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 亀岡の伝統・文化を生かしたまちづくりについて</p>	<p>亀岡市内には、他市に誇れる伝統や文化、ものづくり産業が点在している。地域のポテンシャルを高めるための具体策として、これらに市独自のスポットを当て観光にも結び付けるべきである。</p> <p>(1) 市独自の文化、芸能、産業等々に対する指定制度にはどういったものがあるのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>2 亀岡の観光資源を体験できる社会見学について</p> <p>3 再生可能エネルギーの導入について</p>	<p>(2) 規模は小さくても伝統的な技法や亀岡ならではのこだわりのものづくり技術や建造物等をピックアップして市独自の指定等を行ってはどうか。</p> <p>(3) 小田原市には街かど博物館という制度がある。スポットを当てたところをリンクさせて観光につなげてはどうか。</p> <p>(4) 教育現場でも社会見学などに使ってふるさとの素晴らしさを教えるべきであると思うがどうか。</p> <p>本市の三大観光を子どもたちに体験させ、ふるさとの素晴らしさを肌で感じられる社会見学に取り組むべきである。</p> <p>(1) 亀岡の三大観光を体験できる社会見学は行われているのか。</p> <p>(2) 保津川下りやトロッコ列車の体験も、ふるさとの素晴らしさを肌で感じる社会見学になると思うがどうか。</p> <p>太陽光や水流等を活用した再生可能エネルギー導入推進については、環境に負荷をかけない施策として全国各地で取り組まれている。</p> <p>(1) 本市における取り組み状況は。</p> <p>(2) 国では補助制度を充実させ、再生可能エネルギーの導入推進を図っているが、本市でも今後の取り組みを推進すべきではないか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	--	--	---